

保育計画成果報告書

法人名等	特定非営利活動法人 あひる会
施設名	港南あひる保育園
報告者（役職）	阿部 喜代美（主任保育士）
住所・連絡先	神奈川県横浜市港南区東芹が谷14-10
	☎ 045-823-7439
	E-mail Kudou20080531@silk.plala.or.jp

○タイトル（保育計画）

楽しく考え、バランス感覚を養い、ダイナミックに遊ぼう！

○主な助成備品

枕木クライミング

1. 保育計画策定の目的

狭い園庭に設置でき、頭も身体も使いダイナミックに遊べる遊具、として「枕木クライミング」を選びました。

1つの遊具ですが、1～6歳の子どもたちがそれぞれの年齢で遊び方を自由に工夫できる場所が特徴です。そして楽しく遊ぶ中で運動能力の発達を促したい、と考えました。

2. 具体的な実施内容

設置が完了し、実際に使用するにあたり、マニュアルを作成し、想定される危険を回避するにはどうしたらよいかを考え、環境を整えました。人工芝を敷き落下の際の衝撃を緩和すること、保育士が注意すべき点、子どもたちが守る約束事、などを確認しました。

当初、落下の衝撃緩和だけに着目し、下にはクッション性のあるマットなどを考えていましたが、乳児保育室から見えるこの場所が、隣接するマンションの高い擁壁が間近に迫り、暗い印象であることから、少しでも明るくなるように、人工芝を使用しました。緑の人工芝とクライミングのカラフルなホールドが、窓から見える景色をぐんと明るくしてくれました。思わぬ効果で子どもたちはもちろん、保護者の方からも好評です。



<乳児クラスの子どもたち>
ぎゅーっと手と足に力を入れて、「みてみて〜」
「片足でもだいじょうぶだよ！」



<幼児クラスのこどもたち>
「こうやって、こう足をのぼすんだよ」
「ヤッホー！！」

3. その成果と評価

運動能力アップにどの位の効果があったか、というのは今の時点ではわかりません。ただ、散歩に出ない日の活動として、クライミングが選択肢の一つになったこと、幼児クラスにおいては「こんな登り方があるよ」と工夫したり、「ここまで登れたよ！」と達成感を味わうことで遊びの幅がひろがったことが成果のひとつにあげられます。

また、幼児クラスの子どもたちが楽しく、ダイナミックに取り組む姿を見て、乳児クラスの子どもたちが憧れの気持ちを持つ、という保育園ならではの交流ができていることも評価点です。

4. 今後の課題と展望

当園の園庭は園舎を囲むようにコの字型の細長いスペースになっており、まだまだ改善の余地があります。今回の枕木クライミングの設置では、頭も身体もダイナミックに使い、運動能力のアップをねらいとしましたが、園庭が明るく楽しい雰囲気になったこと、一つ遊具を設置したことでさらに有効に使うには、と職員みんなで検討するきっかけになったこと、と嬉しい効果がありました。

当初の計画に書いた通り、当園は、園外活動として散歩を多く取り入れ、歩くことに重点を置いています。ボール遊びやリレーなど広い場所を必要とする活動は、近隣の公園を利用しています。今後も園内・園外での活動をバランスよく組み合わせて日常保育をすすめていきますが、子育て支援等で来園する地域の子どもたちとの交流にも積極的にクライミングを使用していきたい、と考えています。

以上